

ニスコラム



ニスコホームページも
併せてご覧ください！

「中学から塾通い」って

本気で考えているんですか？

ニスコ進学スクール平岡緑教室

こんにちは、ニスコ進学スクール平岡緑教室担当の成田です。かなり衝撃的なタイトルですが、今年度から指導要領ががらりと変わるので、それをいち早くお伝えしたいと思います。特に数学と英語は変更点が大きく、今の保護者様の世代では見たことのない単元が高校から降りてくるので、簡単に紹介したいと思います。

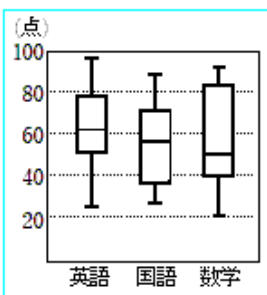
○数学は高校単元がすでに降りてきている ～四分位数・四分位偏差・箱ひげ図の導入～

職業柄、たくさんの保護者様と面談させていただいてきて、どの保護者様もこんな言葉をおっしゃるのです。

「中学から始めようかと思っています」や「小学生からだと早すぎるので…」というお馴染みの台詞…。私自身もそういう風に考えていたときがありましたが、もう時代は変わりました。小3からでも早くはない。そう断言します。中1には現中3単元の「素因数分解」が、中2では現高1単元の「箱ひげ図」や「累積度数」が新しく導入され、データの調べ方・活用の仕方に重点を置いた指導要領に大きく変わっています。実際の問題をご覧くださいれば、その難解さが理解いただけるかと。以下に掲載します。

右の図は、ある中学校の1年生50人に行った英語、国語、数学のテストの得点を、箱ひげ図に表したものである。

- (1) 得点の散らばりが最も大きいといえるのは、どの教科か。
- (2) 80点以上の生徒が13人以上いるのは、どの教科か。
- (3) 国語において、60点以下の生徒は最大で何人いる可能性があるか。また、最小で何人いる可能性があるか。



左の問題の解答は

- (1) 数学
- (2) 数学
- (3) 最大で37人
最小で25人

※ 成田自作の問題です。

これは中2に降りてきた新単元ですが、来年度の入試から新単元・新傾向の入試問題が、そして学校ではこの新単元の定期試験問題が出題されてくるでしょう。これに対応できますか？ 恐らく多くの保護者様は、この「箱ひげ図」や資料を活用した問題には触れてきていないはずです。入試まで対応しようと考えたとき、果たして学校の授業だけで補える内容でしょうか？

今までの指導内容+新単元となるわけですから、対策しなければいけない単元が圧倒的に増えるわけで、さらに他の教科も指導要領が大きく変わるので、「通年の」「昔ながらの」はもうすでに通用しません。

裏面にて、もう一つ大きく変わる英語の内容を見ていきましょう。

○新中1の英語は All English で中2の内容が降りてくる

今年の「大学共通テスト」はご覧になりましたか？時間があれば、単語数「4200 語」に是非チャレンジしてみてください。ついでに、難関私立大の慶応、早稲田の二次試験でも単語数は「3000 語未満」です。これを80分で解くわけです。時間が足りません。何が言いたいかというと、これに合わせて中学校でも学習する単語数が圧倒的に増えるのです。5年前は 1200 語程度でしたが、来年度の改訂で 1800 語に…。そしてゆくゆくは 2500 語になる予定とも言われています。来年度の改訂で英語は以下3点が変わります。

- ① 中学校の英語は原則 All English に
- ② 上記の通り、学習する単語数の増加
- ③ 学習単元の大幅な増加（右表を参照）

あくまでも年間指導計画なので、多少の違いは出てくるとは思いますが、夏休み前までにここまでの文法知識を詰め込むカリキュラムが組まれています。

つまり、小学生の段階で小学校で習った基本的文法が理解できていないと、4 月からの学習に大きな影響を与えることになるでしょう。

NEW HORIZON 新学習指導要領		SUNSHINE 今年度までの指導要領
来年度		※2020年までは以下の時期で学習
4月	be動詞・一般動詞	中1の4月～5月と2カ月かけて学習
5月	助動詞のcan	中1の11月～12月頃
	This/That/He/She	中1の6月～7月頃
	疑問詞What	中1の5月～6月頃
	疑問詞Who	中1の9月～10月頃
	疑問詞How	中1の11月～12月頃
	疑問詞Where	中1の6月～7月頃
6月	疑問詞When	中1の9月～10月頃
	I want to ～	現在、中2内容
	How many ～	中1の5月～6月頃
	命令文	中1の5月～6月頃
	What time ～	中1の6月～7月頃
7月	What + 名詞	中1の9月頃
	like ～ing(動名詞)	現在、中2内容
	be good at ～ing(動名詞)	現在、中2内容
	過去形の表現	中1の1月～2月頃

だからこそ、「中学から」とはもう言っていない時代に突入した と考えています。

○これからの入試で合格をつかみ取るために

以上のことから、これからの入試で合格をつかみ取ることは容易ではありません。そしてこれからの入試で合格をつかみ取るためには「圧倒的演習量」は不可欠なものになるでしょう。私たちニスコの売りはこの「演習量」です。

また、評定も欠かせない昨今、ニスコでは「定期テスト対策」に加えて「副教科対策」もやっています。しかも、その際の追加料金は一切いただいておりません。お預かりさせていただいている生徒一人一人が大切だからこそ、入試に合格して卒業するまで、ときに厳しく、生徒に寄り添い、ともに成長していく場にしていきたいと考えております。

ニスコの強み・他塾とはここが違うという点を教えてください
「講師の質」でいたことと重なりますが、アルバイトの方がおらず、プロの方が、イコール、点をとるコツを教えてください。それがニスコの強みだと思います。そして他塾では、AIなどを使って対策をとることもありますが、ニスコは先生方が学校のテストまでを研究して対策を行ってくれるので、学校のテストでもまた受馬食でも、ニスコの塾生は高得点をとれているのだと思います。
これからニスコに入塾したいと考えている生徒に一言お願いします
ニスコでは、学校で教えてくれることにプラスして、覚え方をしっかり教えてくれるので、忘れにくく、テストでもしっかり点をとることができます。また、授業で先生方がつくってくれた模擬の問題を仲間と競い、高め合いながらとくことができるので、ニスコに入塾したら、確実に得点アップにつながると思います。

ニスコ進学スクールはローリスク（料金は安く）、

ハイリターン（成績は高く）で生徒の笑顔を追求する塾を目指しています！

まずは体験授業を無料にて行っておりますので、一度体験いただいて教室の雰囲気を感じていただければと思います。詳しくはニスコ本部 [TEL:0120-44-3759](tel:0120-44-3759) までお問い合わせください。